



# ストーリー

## 7. できることと、できないことを学びに生かそう 評価を生かした学び方を知る

.....

ミッピ、なんで通知表なんてあるんだろうね。  
やだなー



通知表の何がそんなにいやなの？

だってさ、せっかく楽しいクリスマスや冬休みの前に、「よく  
できましたが何個あるかな。減っていませんように」ってド  
キドキするじゃん。



パパが「楽しみにしてるぞ」ってプレッ  
シャーかけるんだよ。



「よくできました」の数が増えてるか  
もしれないよね？

そうだけど……。増えてたらうれしいけど、  
やっぱり心配!!



あー、いやだなあ。



先生はどんな感じで通知表を渡して  
くれるの？

ええっとね……。





# ストーリー

## 7. できることと、できないことを学びに生かそう 評価を生かした学び方を知る

「通知表は何を学習して、できるようになったかを、みんなと先生とお家の人を確認するものなんだよ。みんなも『ここをこんなふうがんばったんだよ』ってお家の人にお話ししながらわたしてね」



って言われるよ。  
それから、1人ずつ呼ばれて林先生が説明してくれるよ。



1人ずつなんだね。どんな説明？

ぼくができるようになったこととか、次はどんなことをやるといいよとかを、話してくれるんだ。



1学期はどんなお話があったのかな。

1学期は確か、



「理科の気温調べの勉強で、気づいたことをみんなに説明するときにグラフを使う工夫をしていて、とてもわかりやすかったよ」



って。  
そうそう、理科はよくできましたが2つになってた！





# ストーリー

## 7. できることと、できないことを学びに生かそう 評価を生かした学び方を知る



頑張ったことや、はるのいいところを教えてくださいだね。

うん。それで自分でも「あれって良かったんだな」って気がつくこともある。



はる、それってピロリロリンじゃない？

確かに！  
しかも、林先生はぼくのがんばったことをニコニコ話してくれるから、ぼくもめっちゃうれしくなる。



じゃあ通知表のことは心配しなくてもいいんじゃない？

うーん。でも、この前は国語の「よくできました」が減っちゃったんだよ……。漢字テストの点数が悪かったし。



漢字の勉強について林先生に何か言われた？

えーと、





# ストーリー

## 7. できることと、できないことを学びに生かそう 評価を生かした学び方を知る

「はるくんはがんばって漢字の練習してるけど、書きまちがえて横ぼうが一本足りないまま練習しちゃったりすることがあるでしょ？ノートに書く前にお手本をみながらゆっくり空書きして確かめてから書くと、きっと正しく覚えられるよ」



林先生

って教えてくれた。  
そしたら書きまちがえが減って、漢字の勉強もちょっと楽しくなったよ。



はる



ミッピ

はる、それもピロリロリンじゃない？

あ、そうだ！  
あのおとき教えてもらったことで2学期がんばれたんだから、確かにピロリロリンだ！



はる



ミッピ

はるができるようになったことや、どうしたらもっと良くなるかを林先生がたくさん見つけてくれて、通知表で教えてくれて。そしたら新しいピロリロリンが生まれたんだね。すごい！

そうか、通知表にはピロリロリンと、ピロリロリンのもとがたくさんつまっているんだね。なんだか、ちょっと楽しみになってきたぞ。



はる



ミッピ

通知表で「よくできました」の数が増えたり減ったりしたら、その理由を考えることでピロリロリンが生まれそうだね。パパにも林先生と話したことをちゃんと伝えるといいよ。